

広島県空港振興協議会「空港経営改革推進委員会（第1回会議）」について

1 概要

「広島空港の経営改革に係る県の基本方針」(平成29年3月策定)を踏まえた機運醸成等の取組として、官民で空港経営改革を推進するため、広島県空港振興協議会に空港経営改革推進委員会を設置し、第1回会議を次のとおり開催した。

2 会議内容

(1) 日 時 平成29年7月24日(月) 15:00~17:00

(2) 会 場 広島県庁北館4階 第3委員会室

(3) 出席者 出席者名簿のとおり

(4) 主な内容(出席者からの主な意見は次頁のとおり)

ア 空港経営改革推進委員会について

- ・ 委員会の役割や今後の進め方等について意見交換

イ 空港振興施策の進捗状況及び課題等について

- ・ 空港経営改革の進捗状況として、空港活性化部会以降の経緯や「平成30年度施策に関する提案(平成29年5月)」の内容等について説明
- ・ その他の個別の空港振興施策全般に係る進捗状況を説明

ウ 平成29年度重点テーマについて

- ・ 空港経営改革における将来目標及び空港アクセス強化を重点テーマとすることを確認

3 今後の予定

今年度は全4回程度の会議を開催し、重点テーマの取りまとめ等を行うとともに、引き続き地域の声を反映した空港経営改革が進んでいくよう、積極的な情報発信を行う。

《出席者からの主な意見》

① 空港経営改革に係る進捗状況等について

- 他空港の事例を踏まえながら、地元関係者が空港に対して関与できるスキームについても議論する機会を設けてもらいたい。
- 事業スキームは、国に提案した県の意見やマーケットサウンディングによる民間意見を踏まえて国が策定する。今後は国の策定するスキームを前提にして、広島空港の活性化に向けて行うべきことや、運営権者に何をしてもらいたいかを議論し、発信することが重要な局面になってくるのではないかと。

② 空港経営改革推進委員会の役割について

- 空港運営に地元ニーズを反映させるためには、運営権者を含む官民協議の場が必須である。その際に、運営権者の提案を受け身で待つのではなく、地元から提案できるように、本委員会では、将来の官民連携の母体としての準備を行っていくということではないかと。
- 「空港経営改革を通じてどのような空港にしてほしいか」を地元意見として示し、県に対して国や運営権者への働きかけを促していくことが、本委員会の大きな役割だと思う。

③ 重点テーマについて

- 重点テーマは、経営改革プロセスの中で「いつまでに何を整理すべき」で「それぞれの主体が何をすべきか」といった全体像を明らかにしながら議論を進める必要がある。
- 空港経営改革の30年間で射程に置いた将来目標を議論する場合、航空需要の動向などの空港目線のアプローチだけでは不十分であり、地域の方向性を踏まえて、30年後の地域のあり方をイメージしながら広島空港の絵姿をどう描くかということとセットで議論することが重要である。

④ 委員会の進め方について

- 空港経営改革のプロセスに応じて、国や運営権者に何を要望していくかを意識しながら委員会の活動を進めることが重要である。次回会議では、その時々で本委員会が果たす役割や、重点テーマの取りまとめ結果を空港経営改革のプロセスにどう活かすかなどを再度整理した上で、もう少し詳細に示してもらいたい。